

新規

事業者名

株式会社SMO南小国

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿>

「上質な里山を次世代に」を理念、「地域資源を未来につなぐ持続可能な地域経営の実現」を使命に掲げ、SDGsの理念を経営の根幹に据えて事業を展開しています。観光、農林畜産業、人材、環境といった複合的な地域課題に向き合いながら、地域の“稼ぐ力”と“暮らす力”の両立を目指しています。

2030年に向けた経営方針としては、以下の3点を軸とします。

1. 地域資源の持続可能な活用と価値創造(目標2・12・15)
地域の農産物・景観・文化などを磨き上げ、ふるさと納税や観光事業を通じて新たな経済循環を生み出します。
2. 誰もが働きがいを持てる地域社会の実現(目標5・8・10)
「しごとコンビニ」等を通じた多様な就労機会の創出と、育児・介護と両立できる柔軟な働き方の整備により、地域に根差した人材定着を図ります。
3. 地域と地球にやさしい観光・経済活動の推進(目標11・13・17)
自然環境と共生する観光の仕組みづくりや、官民連携・域外連携による知見と資源の共有を強化します。

私たちは2030年に向けて、地域課題をビジネスの力で解決する「社会的価値と経済的価値の両立モデル」を南小国町で確立し、それを他地域へも波及できる実践知へと高めていきます。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標>

三側面 (分野に☑)	SDGsに関する重点的な取組み	指標 (更新時に向けた数値目標)	
<input checked="" type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済	阿蘇くじゅう国立公園内に位置する南小国町の豊かな自然環境や里山景観を次世代に継承していくため、地域の自然資源を損なうことなく活用する体験型観光を企画・実施していく。	項目	当社運営のSatoyamaJourneyの年間実施回数
		現状(2024年)	更新時(3年後)
		年間30回	年間50回
<input type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済	南小国町内で顕在化している人手不足や高齢化に対応するため、「しごとコンビニ」事業を実施し、子育て世代・高齢者・副業希望者など、フルタイムでの就労が困難な住民と、短時間でも人手を求める地域の事業者とをマッチングしていく。	項目	しごとコンビニによるマッチング数
		現状(2024年)	更新時(3年後)
		年間120件	年間500件
<input type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 経済	南小国町の農林畜産物や加工品、温泉地ならではの観光資源など、地域ならではの魅力をふるさと納税の「返礼品」や「観光体験商品」として磨き上げ、地域外からの資金を獲得すると同時に、地元の生産者や事業者への受注を拡大し、地域内の経済循環を生み出していく。	項目	ふるさと納税寄付額
		現状(2024年)	更新時(3年後)
		年間12億円	年間15億円

・「SDGsに関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。

・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、それを評価するための指標項目と、現状の数値および更新時(3年後)の数値目標を記載してください。

※提出前に全てセルが青色から白色に変更になっているかをご確認ください。

<パートナーシップ>

地域課題の解決と持続可能な地域づくりを実現するため、行政、地元事業者、住民、教育機関、他地域のDMO等との連携を重視しており、分野を超えたパートナーシップを築いています。地域内では、生産者と連携した商品開発や観光コンテンツ造成、観光客と住民の共生を目指した環境整備に取り組んでいます。加えて、町外の専門機関や大学との連携により、実証事業や人材育成も推進しています。

・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携を記載してください。